

「おおいた『夢』花火2024」について

Q/牧

昨年の定例会で花火大会開催について質問し、その後準備が進んでいると聞いています。おおいた『夢』花火2024の開催に向けて、コロナ前と同規模の6500発が打ち上がる予定ですが、資金調達の進捗状況を教えてください。

A/ 商工労働観光部

おおいた『夢』花火2024の実行委員会は昨年11月に設立され、3000万円を目標に協賛を募っています。6月19日時点で、132件、2160万円の協賛が集まっており、引き続き協賛をお願いしています。

Q/牧

資金が順調に集まっているようですが、今後、市民からの資金集めについて予定があれば教えてください。

A/ 商工労働観光部

今後は企業団体だけでなく、市民にも協力を呼びかけます。具体的には観覧区画の販売や、クラウドファンディングを予定し、より多くの方に花火大会を支援していただけるよう努力します。

Q/牧

現在ホームページが立ち上がっていますが、公式SNSや他のコンテンツが少なく、改善の余地があると思います。公式SNSなどを増やす予定はありますか。

A/ 商工労働観光部

公式ホームページには協賛金の依頼や開催情報を掲載していますが、今後は観覧区画の販売情報や交通規制、協賛企業名の告知なども追加予定です。また、SNSとの連携やポスター、市報などを通じて周知を図ります。

牧

準備が進んでいることに安心しました。大分観光サポーター(仮)が実現すれば、こうしたイベントもさらに盛り上げられると期待しています。

「大分市観光サポーター(仮)」について

Q/牧

コロナ禍が収束し、国内外から多くの観光客が訪れ、大分県内でも宿泊者数がコロナ前の9割まで回復しています。大分市では観光客数が増加し、観光地の魅力も向上しています。各市町村で地元出身者を観光大使に任命し、観光PRに協力してもらい取り組みが進んでいますが、大分市も「大分市観光サポーター(仮)」のような制度を導入してはいかがでしょうか。

A/ 商工労働観光部

昨年5月に新型コロナウイルスの感染症分類が引き下げられ、全国的に観光客が増加しています。大分市も例外ではなく、観光客数が令和元年に次ぐ数に達しています。著名人を活用した観光PRは全国的に効果があり、大分市でもタレントやスポーツ選手などを活用することが有効です。しかし、選定基準や経費、スケジュール調整の課題があります。他市の事例を参考しつつ、イベント時のスポット的な任命方法なども含め、最適なPR方法を検討してまいります。

Q/牧

別府市や臼杵市では気軽に観光大使を任命し、SNSを通じて楽しくPR活動をしています。特に著名人のSNSフォロワー数が多いことから、観光PR効果が期待できます。大分市でも郷土愛を育み、観光客誘致に向けて引き続き前向きな検討をお願いします。

A/ 商工労働観光部

引き続き、観光PR強化に向けて前向きに検討いたします。

牧たかひろ事務所 〒870-0912 大分市新町1-27-105

HOTLINE 080-1755-5220

ブログなど各種SNS更新中!
いいね!やフォローをぜひお願いします!

牧たかひろ 検索

公式ホームページ <https://www.takahiro-maki.com/>



公式ホームページ Youtube



Makky News VOL.6

大分市議会議員 牧たかひろ通信

皆さんこんにちは、大分市議会議員の牧たかひろです。

当選してからというもの、定例会では毎回一般質問に登壇させて頂き、令和6年9月現在で15回目となりました。

質問内容には不妊治療、観光、子育て、地域の要望等、さまざまな課題や問題にスポットを当てて来ました。

しっかりと前に進めたもの、もっと議論を深める必要があるもの、どちらも大切なこと。一般質問だけでなく、それぞれの地域からの要望も大切な役割で、野球場のバックネットの交換や街灯の設置等、要望が通った際の皆さまからの「ありがとう」のひとつが、今の僕の原動力となっています。

また自由民主党という組織の中で、国政・県政の動きに注視しながら、市政の一翼を担う役割と向き合い日々活動しております。



このMakkyNewsには僕の思いを乗せて皆様にお配りしておりますので、じっくりとご覧いただき、私がお役に立てることがありましたら、どのようなことでもお気軽にご相談ください。

市議会議員 牧たかひろ 地域・政治活動ダイジェスト

教育環境改善視察

今朝は教育環境改善視察よりスタート!
城東・原川地区の児童生徒の、通学路安全を守るための活動。僕は原川校区を回りましたが、様々な問題や改善したい場所が様々あります。それぞれの課題や解決の方向性等、しっかりとお伝えさせて頂きます。児童生徒の皆さんには伸び伸びと育てて頂きたい!



子育て応援レストラン

桃園小学校体育館で、NPO法人子育て応援レストラン主催の子育て支援が行われました!こうやって人様のお役に立てる活動、笑顔でさせて頂いていることが嬉しい。若林さん、そしてメンバーの皆様心より感謝!あっ、自分の写真を見たら笑顔が足りてない(笑)精進いたします!



会派視察報告

はつらつベビーまごころ便事業

日 時/令和6年2月20日(水)
視察先/兵庫県たつの市

【調査概要及び所感】

たつの市は兵庫県の南西部に位置し、令和5年4月1日現在の人口は、およそ7万3千人。南北に細長の地形であり、その中を貫くように揖保川が流れている。地場産業として醤油、素麺、皮革の生産が古くから盛んで、全国的に知られる企業も存在する。

今回の調査事項「はつらつベビーまごころ便事業」は、子育て支援と少子化対策の一環として令和2年度よりスタート。

乳児の保護者へのサポートとして、紙おむつやミルク等のベビー用品を支給。

保護者の経済的負担や外出負担を減らし、宅配による見守り活動も持たせるというもの。

乳児が生後2ヶ月と5ヶ月の月に自宅にてベビー用品を支給、その際に育児の悩み相談も出来るシステムになっている。



カタログを見てみると、普段必要な紙おむつは様々な銘柄があり、ミルクも同様に用意されている。

その他にも離乳食等も用意されており、「自分で購入したことはないが、試してみたい」と人気アイテムも入れているとのこと。

一番人気は某メーカーの紙おむつで、病院で使用していたものをそのまま自宅でも、という流れが出来ているようだ。

事業はおおむね好評だが「細かい要望にどの程度まで反映していくのか」「国主導で始まった出産・子育て応援交付金事業の開始で、国庫補助が廃止されないかが懸念される」等の検討すべき点もある。

しかし、子育て世代の経済的および精神的サポートになっていると思われるので、今後の展開に注視、調査を続けたいと思う。



令和6年第2回定例会が開催されました

令和6年第2回大分市議会定例会が6月13日から6月27日までの会期で開催されました。自由民主党大分市議団からは、足立義弘議員、倉掛賢裕議員、長野辰生議員、進義和議員、牧貴宏議員、山本卓矢議員の6名が一般質問を行い、市政の様々な課題に取り組みました。市民の皆様と真摯に向き合いながら、少子化や高齢化、地域経済の活性化など、重要な課題について議論が行われました。今後も市民の皆様の声を反映し、より良い大分市を目指して取り組んでまいります。

令和6年度6月補正予算のポイント

一般会計		特別会計	
補正額	4,423,000千円	介護保険特別会計	78,000千円
補正後予算額	216,273,000千円	(要介護認定業務DX化事業)	
(対前年比0.1%増)		全会計の補正総額	4,501,000千円
【歳出】 (単位:千円)			
○低所得者支援及び定額減税補給付金事業	4,334,000		
①新たに令和6年度住民税非課税、均等割のみ課税となる世帯に対し、10万円を給付。			
②①の給付対象世帯への加算として、18歳以下の児童一人当たり5万円を給付。			
③定額減税可能額が減税前税額を上回ると見込まれる所得税/住民税の納税義務者に対し、減税しきれない分を給付。 ※定額減税=(本人+扶養家族)×4万円			
○要介護認定業務DX化事業(特別会計と併せて計上)	78,000		
国が整備する介護情報連携システム(PMH)を活用し、要介護認定業務のDX化を進める。 ※事業は介護保険特別会計の予算で実施。一般会計は必要な財源を予算計上し、特別会計に繰り出す。			
○路線バス代替交通運行事業	11,000		
本年10月1日から路線バスが休止される八幡地域において、代替交通の運行を開始し、生活交通の確保・維持を図る。			
債務負担行為(変更)			
路線バス代替交通運行业務委託料(令和7年度分)	(変更前) 77,500 (変更後) 94,500		
生活交通確保維持事業費補助金(令和7年度分)	(変更前) 25,000 (変更後) 8,000		
【歳入】			
○国県支出金	4,397,866		
○繰越金	25,125		
○その他(会計年度任用職員社会保険料徴収金)	9		